

■二輪車販売の実務と情報

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.121 1973

# 7

JUL.

海外の一流ライダー、大挙出場!!

## 〈第2回〉ヤマハグランド スポーツフェスティバル

8月4日(土) 5日(日)

於・富士スピードウェイ



ヤマハ発動機株式会社





「見えないクッション」といわれ

いま世界の注目を浴びているヤマハの新技术

# ヤマハモノクロスサスペンション

このユニークな新技术は、国内外のモトクロスで、着実な勝ち星をあげている73ワークス・モトクロッサー「ヤマハYZM 250/同125」のリア・サスペンションに採用されているヤマハの画期的な技术成果です



著名な経済・工業紙も大きく報道(6月13日付)

## 日本経済新聞

緩衝装置を近く市販

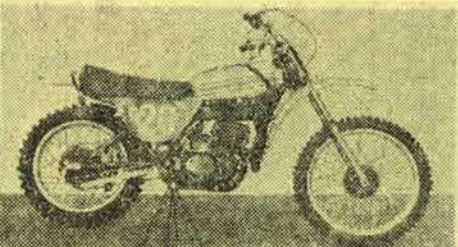
ヤマハ、オートバイ用  
ヤマハ発動機は十日、レース用オートバイの画期的な緩衝機構として、「ヤマハ・モノクロス・サスペンション」を開発したと発表した。ベルギーのオートバイ研究者、L・ティルケンス氏(元リージュ大学教授)の特許による

もので、従来、後輪に取り付けていた二本のサスペンション(緩衝装置)に代わって、タンクの下にサスペンションを取り付け、安定性、操縦性をよくしたのが特徴。すでにレース用に試作車を走らせているが、結果がよいことから、近く市販車に本格的に採用するといふ。

## 日工業新聞

ヤマハ、モノクロス  
サスペンション完成

【浜松】ヤマハ発動機(社長川上源一氏)はコイルスプリング、



モノクロスサスペンション車

オイル、懸架ガスの組合せから成る新しいリアクッション方式のヤマハモノクロスサスペンションを完成した、と十二日発表した。

この機構は昨年十二月、ベルギーのL・ティルケンス氏(元リージュ工業大学教授)の基本特許を取得、実用化を進めていたもので、現在、国内外に三十数件の周辺特許を出願している。

その構造はフレームのタンタレール部分にコイルスプリング、オイル、懸架ガスなどの緩衝部材を組合せた一本のクッションユニットが前部をフレーム前部に固定、後部を従来のリアアームに取付け、三角張りの構造と連結している。これによって車全体の強度剛性を上げ、前後の強度剛性を調整することができるといふ。また、この機構が従来のクッションストロークを大きくすることによって、操縦安定性が大幅に向上、ライダーの視界もよいという特性が得られるといふ。すでに同社ではこの機構を二五〇、二五〇ccクラスのレース用二輪車に取付けて高成績を収めていることから、こんどの新機構をレース用車中心に採用する方針。



今年の夏も、富士に集まれ!!

海外一流ライダーも大挙出場!!

# ヤマハ グランド スポーツ フェスティバル

8月4日(土)5日(日) 於・富士スピードウェイ(FISCO)

ヤマハが推進するスポーツレジャーの新しい方向性を示し、とくに音楽とスポーツレジャーの調和をもとに、若者をモータースポーツの世界へ誘い、オールヤマハのイメージアップを図る“ヤマハ グランド スポーツ フェスティバル(YGSF)”も、今年で第2回、開催まであと1ヵ月とせまりました。

内容は前回に増して、より多彩に、豪華に企画されています。とくに呼びもののモトクロス、ロードレース、カートレース、トライアルには、日本の一流選手がズラリと顔をそろえるほか、アメリカ、カナダ、イギリス、インドネシア、シンガポール、ブラジル、ベネズエラなど、海外の著名一流選手も加わっ

て、日本で見られる最大にして唯一の国際的なレースが展開されます。

どうぞ、お店のお客さまお誘い合わせのうえ、ご参加くださるようお待ちしております。

- ☑ YGSF 杯争奪モトクロス選手権大会
- ☑ YGSF 杯争奪ロードレース選手権大会
- ☑ YGSF 杯争奪カートレース選手権大会
- ☑ YGSF 杯争奪トライアル選手権大会

♪ ミュージック・イン・ヤマハ

🌀 セレモニー 🌀

- ★ アトラクション(自転車/ジムカーナーほか)
- 二輪車安全運転YGSF大会
- オールヤマハ製品展示コーナー ■ パーツ用品コーナー
- SLクラブ/免許相談コーナー
- セニアライダーサイン会ほか



YGSFに参加する海外著名ライダーの代表 左よりトライアルのチャンピオン、ミック・アンドリュース、ロードレースのケル・キャラザース、ゲリー・フィッシャー、モトクロスのティム・ハート、ビュール・カールスマーカーの各選手。

# Music In Yamaha

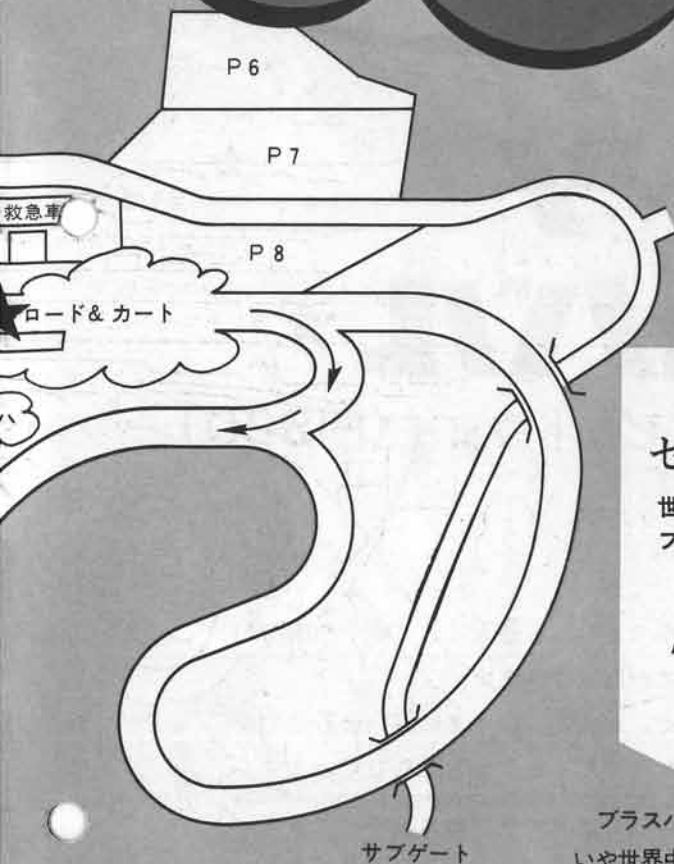
## ミュージック イン ヤマハ

8月4日 PM6:00、エキゾーストサウンドズに燃えたお客さまのこころに、フィスコヘアピンカーブの特設会場から、強烈なサウンドがサク裂します。YGSF もうひとつの焦点ミュージック・イン・ヤマハです。

ミッキー・カーチスの総合司会のもと、フォークがある(第1部)、ウエスタンがある(第2部)、ロックがある(第3部)……ガッツなサウンドの祭典、YGSF もうひとつのクライマックスです。

出演は第1部フォークに、ブレッド&バター、Buzz、チューイングガム、ウィッシュ、ニューサディスティックピンク。第2部カントリーウエスタンには、ジミー時田、原田新太郎とシティライツ、杉はじめ&フォーム・ターナーズ、ブロンコ。そして第3部ロックは、キャロル、内田裕也1815ロックンロールバンド、キャプテンひろ&スペースバンド、ファニー・カンパニー……。

会場構成もフィスコ内と見やすくなって、若人の音の祭典を存分におたのしみいただけます。



- ★ヤマハ製品展示コーナー
- ★セニアライダーサインコーナー
- ★アクセサリー、パーツコーナー
- ★モータースポーツ相談コーナー
- ★SL会コーナー

### ★ セレモニー

世界GPマシン  
フィスコに登場!!

8月5日

AM11:00

お客さまには見て、さわって、聞いて……いただくフィスコ・グランドスタンド下は、お祭りムードいっぱいの楽しいYGSF ブラザ、SL ブラザです。

オートバイからポート、ヨット、スノーモビル、カートとオールヤマハをすべて展示。またモトクロスの鈴木忠男、秀明、都良夫…、ロードレースの本橋、三室、河崎、金谷など超一流ライダーとも気軽に話せるサインコーナー。そしてナウな用品部品コーナー、SL会コーナーともりだくさんの内容でお待ちしております。

### ★OBレース

8月5日 PM00:30

昨年大いに人気を呼んだヤマハOBによる迷?レースが、ことしもセレモニーにひきつづいて行なわれます。

野口種晴、砂子義一、大石秀夫、益子治、長谷川弘、望月修、片山義夫、荒井市次、宇野順一郎……などなど、浅間火山レースから世界GPまで“スポーツはヤマハ”を築いてきた往年の名ライダーが、FX50を駆って名(迷)勝負を再現!ともかく乞うご期待です。

プラスバンド、バトンガールにつづく日本いや世界中からの参加選手堂々の入場行進から、はなやかなYGSFセレモニーが始まります。

スタンドを埋めたお客さま、お店のみなさま、参加者そしてヤマハ、すべてがひとつに溶けあってSLのすばらしさを謳歌するYGSFのクライマックスです。

### ★二輪車安全運転 YGSF大会

日本中のベストライダーがYGSFに集まり安全運転のウデのほどを競いあいここで日本一のセフティライダーが決定します。ツーリング派のお客さまには必見の競技です。

### ★一般参加 乗り物コーナー

どなたでもすぐにとび込める楽しい乗り物コーナーには、ブジョー自転車、トライアル、レジャーバイク、ゴーカートなどがお客さまの参加を待ちうけています。

YGSFは、すべてのみなさんが参加者。お客さまにもふるってご参加をおすすめください。

## ★YGSF杯争奪モトクロス選手権大会

決勝8月5日 AM8:10~PM4:30

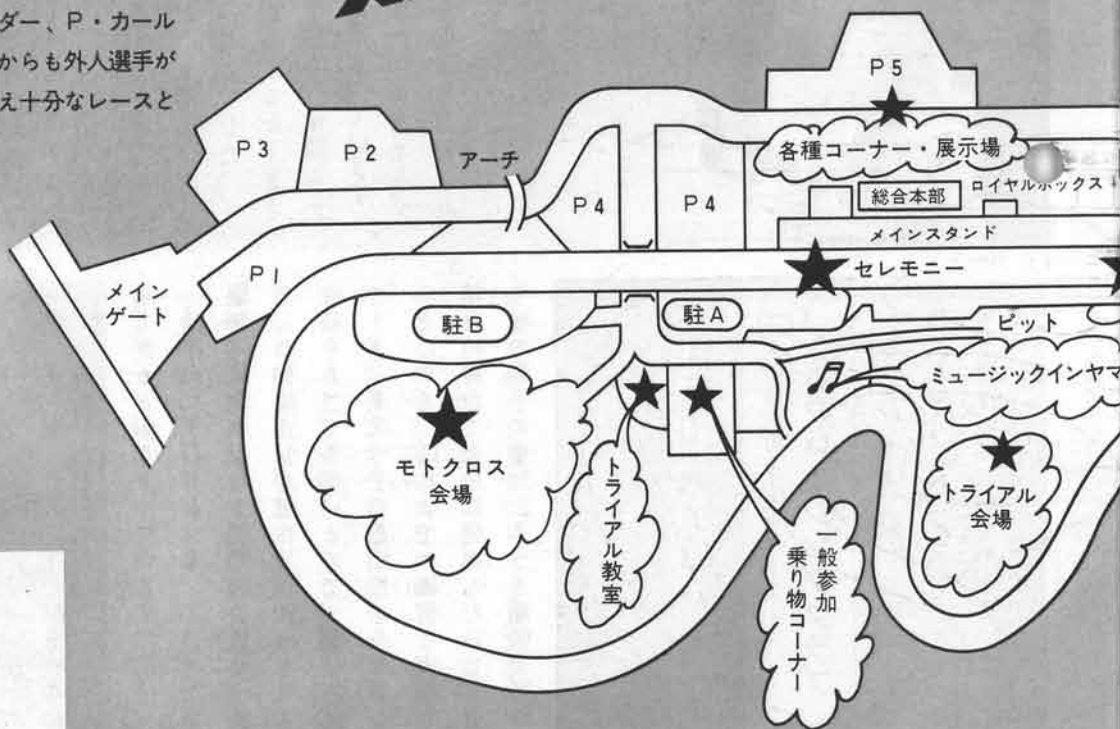
北海道から九州、沖縄まで全国11ブロックの73トール杯争奪モトクロス選手権シリーズを勝抜いてきた代表選手約800名が覇を競う年1回の全国大会です。

お店のお客さまの活躍が期待されるのですが、4日は公式練習と予選。5日8時、ミニトール50ccクラスから注目の〈YGSF杯争奪グランプリモトクロス〉まで計15レースにわたる熱戦が展開されます。

特にことしは、アメリカのGPライダー、P・カールスマーカーはじめカナダ、ベネズエラからも外人選手が参加し、観戦派のお客さまにも見ごたえ十分なレースとなるでしょう。

73/2nd Yamaha Grand Sports Festival  
**YGSF**

ヤマハグランド  
スポーツフェスティバル



## ★YGSF杯争奪

ロードレース  
選手権大会

決勝8月5日  
AM8:00~PM4:20

モータースポーツの花・ロードレースもノビス90ccから10クラス、6レースにわたるシャープな白熱戦をくりひろげます。

中でも注目されるのは、5日3時30分からのYGSF杯争奪グランプリロードレース。

EJ、Sの若きエースたちと日本のトップGPライダー本橋、三室、河崎そして世界の金谷に加えてアメリカのK・キャラザース、G・フィッシャーのゴールデンコンビをはじめ、インドネシア、シンガポール、ホンコンカナダ、ブラジル、ベネズエラなどからも国際的ライダーが大挙出場。国際色も豊かな第2回YGSFを飾る、国内で見られるものとしては最高のロードレースを披露します。お客さまともどもぜひご観戦を！

## ★YGSF杯争奪

トライアル選手権大会

日に日に人気を高めているトライアルも今回からYGSFに新登場。しかも、ヤマハ契約の国際トライアルの第1人者ミック・アンドリュウスを迎え、20~30セクションにわたるオブザベーショントライアルを開催、まさにYGSFならではの豪華プログラムです。

いよいよ日本のトライアルも本格化、お店のご主人、お客さまあわせてこの機会にぜひトライアルをじっくりものにし、これからのトライアルブームを先取りしていただく絶好の機会です。

## ★YGSF杯争奪

カートレース選手権大会

決勝8月5日 PM2:20

日本初の完成カートマシン“ヤマハカートRC100”も登場して、12歳からチャレンジできるユニークなモータースポーツ“カートレース”の人気は急上昇。

ことしもスリリングなレースをコースいっぱいにくりひろげます。RC100の大挙出場で、より豪快なカーティングの真髄が堪能できることでしょう。



# 杯争奪モトクロス



表彰をうけるワイルドキャット岩國の野田幸二選手（ワイルドキャット岩國）

もり沢山の内容で、いよいよ人気を高めている「ヤマハグランドスポーツフェスティバル」の多彩な行事種目の中で、もつとも身近な話題としてホットな情報がとびかっているのが「YGSF杯争奪モトクロス選手権大会」です。

というのも、この「YGSF杯」は、全国を11ブロックに分けて行なわれている「トレール杯」すなわち「TCMS」のベスト三戦のトータルで上位六位の人がブロック代表となつて覇を競うもので、いわばTCMSのグランプリともいえるものだからです。

昨年の「YGSF杯」では、関東Aブロックが圧倒的なつよさをみせて優勝をかざりましたが、北海道ブロックの健闘、関西、九州勢の活躍もまたみごとでした。

果して今年はこのブロックが栄冠をかちとるか、まさに興味津々といったところ。若手有望選手の擡頭も大いに期待され、目を追つてますます人気が高まっています。各ブロックの健闘を祈ると共に「YGSF杯争奪モトクロス選手権大会」にかける各地の抱負を聞いてみました。

## 調子のはより坂

### 東北ツ子の土根性を見せよう

秋田市豊岩豊巻・大倉オート

## オオクラ・ライダーズ

いよいよ「YGSF」ですね。今年は第一戦こそかんばしくなかったですが、その後は秋田、尾花沢、大湯とTCMS戦を勝ちぬいてきましたので、わがクラブからは四人は出場できると張りきっています。

昨年の「YGSF」で、ミニ・トレ60ccに優勝、東北ブロック部門に貴重な一勝をプラスした梅崎正弘が健在で、90ccクラスにも好成绩をあげてきているので、楽しみは大きいですよ。東北ツ子の土根性をみせましょう。

とにかく、これまでの練習と実戦の成果を晴れの舞台で大いに発揮したいと、全員のほり坂の調子で参加しようと頑張っています。

## 富士スピードウェイにも遠征

### レース出場が何よりもの練習

水戸市住吉町・小室モーターズ

## 水戸レーシングクラブ

うちのクラブは、エキスパートジュニアの小林正人をはじめジュニア、ノービス各部門に多士済々のメンバーがそろっています。

これまでの予選シリーズには二十人ほどチャレンジしていますが、半分は「YGSF」

に顔を出せるのではないかと思います。中でもジュニア90、125、250の宮本英治、同じく沢田泰弘はわがクラブの精鋭で、ノービスでも250で進境めざましい吉成誠がおり、自信は満々です。今年は新春早々、特別仕立てのバスでFISCOに乗りこみ、合同練習もやりました。「YGSF」ではこの熱意をみせなければと、みんなが張りきっています。

## モトクロス教室から新人発掘

### 目標は「YGSF杯」の制覇

豊中市長興寺角・スポーツショップ豊中

## 緑地ライダーズ

わがクラブはメンバーの半分ぐらいが高校生という若さ溢れるところが大きな特色。レース経験はまだ浅く、転倒はあるが結構いいセンをいつてるし、毎日曜日は練習という熱意で、チームは全員ハッスルしている。

もちろん目標は「YGSF杯」の制覇。四月には橋本特設リンクで「トレール杯」があるというので、地形の似た岡山トレールランドまで遠征したこともある。また有望な新人の擡頭を期して、モトクロス教室も積極的に開いている。もつとも期待しているのはノービス90cc級の村田昭男で、スタンダード車で優勝しているウデ前の持主だ。乞うご期待。

# 晴れの YGSF へ 意気あがるトレール



東北ツ子の土根性をバツクホーンに元気で行くこう！ オオクラ・ライダース



スポーツショップ豊中さんの恒例のモトクロス教室。この下地があればこそ仲間はずよい。



1月2・3日。特別仕立てのバスでFISC Oに乗り込んだ水戸レィンククラブの皆さん



手に手に勝利のトロフィーをもつトヤマ・アイベックスクラブのメンバー

今年も、最優秀選手をとる！

全員一丸となって、YGSFへ

大阪市東区谷町・戸山モーターズ  
トヤマ・アイベックスクラブ

わがクラブは設立して三年目。当初はツーリングを主目的に活躍したが、トレールランに移り、「トレール杯」に参加した。

クラブ員は三十五名で、うち二十名がライダーとして活躍。ノービスが主体だが、平均年齢二十才の若さで、バリバリ走りまくっている。昨年は161本のトロフィーを獲ちとったし、YGSFでは西尾雅仁がノービス250、同オープンと二重勝し、みごと最優秀選手賞に輝いた。ことしもこの西尾くんを筆頭に、さらに多くの勝利と栄誉をかちとろうと、全員一丸となって「YGSF」に参加する。関西のトヤマ・アイベックスにご注目を！

ウデは中国ブロックずい一  
最優秀チームの実力を披露しよう

岩国市車町二丁目・若木サイクル  
ワイルドキャット岩国

今年山口、広島と二戦して、ジュニア250に連勝、125ccに一位、三位、同90cc三位、ノービス250cc三位、同125cc二位、同90ccに三

位、ミニで連勝と、まずまずのスタートをきっている。とくにジュニア部門では、四国ブロックを入れてもずい一の腕前をもつ山本義明が好調で、ノービスのダークホース中本辰男と共に「YGSF」には五人ぐらいはおくれよう。一戦、二戦では最優秀チーム賞も獲得している。まずは中国ブロックずい一のウデ前をとくと見ていただきましょうか。

とにかく、やる気のあるメンバーがそろっているわがクラブの活躍は話題となろう。

新人の活躍で見せ場をつくる  
火の国、九州勢の心意気をみよ

佐賀県東松浦郡・高見モーターズ  
佐賀ムツゴロウレィンクチーム

昨年の「YGSF」は本当に楽しかった。とくにわが佐賀ムツゴロウからは大挙参加して、九州勢の心意気的一端をお見せできたのは痛快でした。しかし今年、正直いって昨年ほどのライダーが送れるかどうか疑問です。というのも、主力メンバーが結婚その他の事由により、ごっそりぬけてしまったからです。でも、新人が頑張っています。佐賀ずい一の天山（標高一〇四六m）にトレール車で登ったり、練習にはおさおさ怠りありません。またきつと、みごとな見せ場をお見せすることができましょう。みなさまSL仲間との富士での再会を楽しみにしています。

# YGSF会場周辺ガイド







“見えないクッション”

# ヤマハモノクロスサスペンション



ニュー・サスを採用して技術的なビッグ・ニュースとさわがれたYZM250

“空飛ぶサスペンション”とか、“見えないクッション”などと、その強力な性能とユニークなサスペンション機構で話題をまいているワークス・モトクロッサー「ヤマハYZM250/YZM125」のリア・サスペンションがその名も「ヤマハ・モノ・クロス・サスペンション」として発表されました。ここに、そのあらましをご紹介します。

デビュー戦で圧勝  
強烈な印象を与えた「ニュー・サス」

新しいリア・サスペンションを採用した73ワークス・モトクロッサー・YZM250/125が初めてそのペールを脱いだのは、MFJ全日本選手権シリーズの第一戦「谷田部モトクロス大会」で、注目のセニア250cc/125ccの両クラスに1、2、3、4位を独占、その圧倒的なつよさと共に関係者に強烈なショックを与えたのが、このユニークな「ヤマハ・モノ・クロス・サスペンション」でした。

一般的にいつて、パワーユニットとサスペンションのマッチングの問題は、常に技術者に与えられるもつとも重要な研究課題の一つとなつていますが、これは、いかにすぐれたパワーユニットをもつマシンといえどもサスペンションの性能がパワーとバランスしていかないものであつては、操縦性、安定性の面でもてる力をフルに発揮することは困難なことになるからです。

とくに、不整地をレースの舞台とするモトクロッサーについては、使用状況がもつとも苛酷なものだけにサスペンションの問題は重要項目です。それだけに“見えないクッション”の「ヤマハ・モノ・クロス・サスペンション」はまさに衝撃的であつたわけですから。

## 数々のすぐれた特徴をもつ 「モノ・クロス・サスペンション」

その構造は左ページの図版で明らかになように、これまでのリア・サスペンションとは一変したユニークなものです。

まず目につくのは、長いクッション・ユニットと三角状のリアフレームです。

フレームのタンクレール部におかれたクッションユニットは一本で、水平よりやや上向きにあさい傾斜角度をもつて、前端をフレーム前部に固定、後端は独得のトライアングル（三角型）を形成しているリヤアーム上部に取付けられています。

そしてその働きは、上下動するリヤアームのショックを前後方向におきかえてコイルスプリング、オイル、エヤなどを緩衝体としたクッションユニットで吸収するという仕組みです。

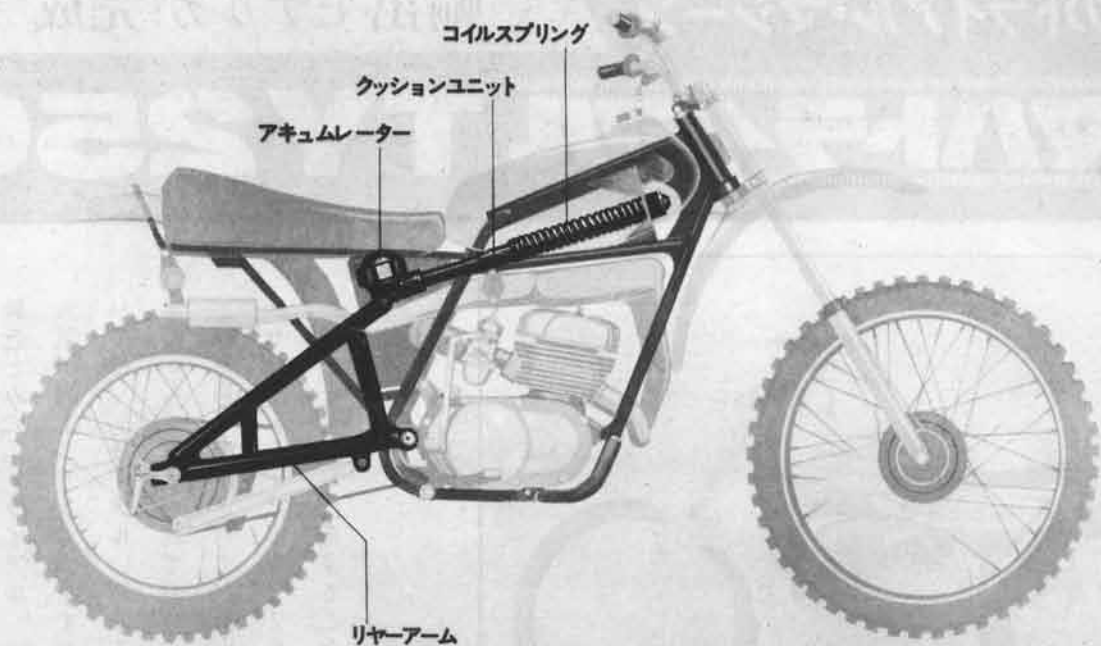
この「モノ・クロス・サスペンション」の特徴は、従来のスイングアーム式に比べショックのエネルギー吸収度が高く、加えて条件設定の自由度も非常に大きいという設計上の大きなメリットをもつていこととです。

また、YZM250/125では緩衝部材としてコイルスプリングのほか窒素ガスを使用していますが、その耐久性は従来のものに劣らないばかりでなく、「モノ・クロス・サスペンション」特有のすぐれた効果が総合的な性能アップに大きく役立っています。

### すなわち

- ① このようなクッションユニットの取付け方法により、車体全体を強度、剛性上バランスのとれたものにするができる。
- ② クッションユニットが長くつれ、後輪のクッションストロークを大きくすることが出来る。
- ③ クッションユニット自体はコイルスプリング、オイル、不活性ガス等の緩衝部材の組合わせで、非常にソフトな特性をそなえている。
- ④ 以上の結果、とくに悪路における車の直進性やコーナーにおける操縦安定性が画期的





的に向上し、ライダーの疲労も少なく、オフロード用マシンとして、今までにないすばらしい乗車感が得られる。

### ヤマハ独自の技術へ足固め 市販車への採用も大きな可能性

この新方式の「ヤマハ・モノ・クロス・サスペンション」を採用したマシンは、五月二十九日の250cc級モトクロス世界GP、ベルギー・グランプリ、戦よりH・アンダーソン、J・V・ベルトーヘン、鈴木都良夫の三選手が使用して、いずれも抜群の成績をあげており、もつか250cc級モトクロス世界GPメーカーチャンピオンのランキング一位にあります。

また国内にあっても、そのめざましい活躍は注目のマトとなっていますが、さらにコース、排気量などにより異なった仕様のサスペンションを使用、さまざまな技術的データと新しい可能性を追求しています。

なお、「ヤマハ・モノ・クロス・サスペンション」の基本原理は、ベルギー人で、リエージュ工業大学の教授として長年つとめたルシエン・テイルケンス氏の特許によるものですが、ヤマハではこの基本特許権の譲渡をうけ、さらに実用化のため昨秋より基本的な技術解析を開始しました。研究、開発は車体への荷重、応力分布の変化等がおよぼす操縦性、安定性、強度等の影響についての解明と対策に特別な考慮をはらってすすめられ、すでに二十数件におよぶ周辺特許を世界の主要国に申請しています。

もちろん、このヤマハの新技术は、いずれは市販車にも取り入れられる可能性を含んだものでありますが、さらに今後のレースや研究を通じ、開発、完成されていく時間が必要であることもまた事実です。

注目のトライアル・マシーン

輸出モデルが完成

# ヤマハトライアル TY250



輸出モデルとして完成した「ヤマハトライアルTY250」。ライディング・ポジションの徹底したバランスしやすさを図り、車体重量は93kgという軽量さでまとめている。



モトクロス、ロードレースにつづく第三のモータースポーツとして、最近とみに「トライアル」に対する人気が高まってきていますが、ヤマハでは、トライアルに対する研究は早くからすすめられており、このほど第一号モデルとして74輸出モデル「ヤマハトライアルTY250」を完成、七月より出荷することになりました。

## \*国際競技にも通用 本格的なトライアル車\*

トライアルとは、ひと口にいえば操縦技術の信頼性を競うスポーツで、スタートからゴールの間に困難な地形を選んで操縦技術をひたひたと採点する監視区域「セクション」を設け、もつとも失点の少ないライダーを優勝者とするオフサベーション方式と、困難な地形をコースに、定められたチェックポイントへ定められた時間に到着することを競うラリー方式のリアイアピリティ・トライアルの二つのやり方がありますが、「ヤマハトライアルTY250」は前者の代表的な国際イベントであるSSDT（スコティッシュ六日間トライアル）、また後者の代表的な国際イベント

であるISDT（国際六日間トライアル）に出場しても、トップクラスにランクされる実力を目指した本格的なトライアル・マシーンとして開発されたものです。

## \*抜群の超低速性能 アイドリング走行も可能\*

トライアル・マシンのその競技の性質上エンジンは低速性能にすぐれ、ライディングのバランスのとりやすい、軽量で頑丈な車体設計が要求され、いっぽうでは、セクション間のコース移動に支障のない走行性能をもつことが要求されます。

この「TY250」では、これらの基本的な要求事項を高度に満足させるために、エンジンは単気筒2サイクルのトルクインダクション方式を採用、アイドリング状態でも走行できるほどきわめてフラットなトルク特性をもつものとし、アクセルの小さきぎみな、微妙な開閉のコントロールに忠実に対応できるものとしています。

また、このようなエンジン特性に関連してミッションは5速とし、サード以下を低速性能に焦点を合わせてクロス化、フォースおよびトップを一般走行に適したものととしています。すなわち、トライアル・セクションでの使用からSSDTのようなセクション間の自走移動まで余裕のある使い方を可能としたものです。

## \*車体重量わずか93kg 徹底した乗りやすさを確保\*

車体設計については、まずバランスのとりやすいライディング・ポジションの確保に留意し、ハンドルバー、燃料タンク、シート、フットレスト位置、エンジン巾、ペダル類を





「TY 250」のプロトタイプで世界のトライアルに活躍するミック・アンドリュウス。(ヨーロッパ選手権のフランストライアルにて)

スリムにまとめ、すぐれたクッション性能をもつ前後サスペンションおよび適切なステアリング・アライメントの設定により、高度なライディング特性を確保しています。

フレームは軽量化と剛性確保のため高張力鋼管を使用し、その構成はダブル・ダウンチューブによるダイヤモンド型とし、エンジンガードにはFRPを使用しています。

さらにシートベース、エヤクリーナーケースもFRP製とし、アルミ合金製リム、アルミ鍛造フロントフォークブラケットを採用するなど、徹底した軽量化を図り、250cc級ながら車輛重量は93kgという軽さに仕上げられています。

#### \* 国際競技で活躍するTY 250

##### トライアル普及活動を促進\*

なお、この「ヤマハトライアルTY 250」のプロトタイプは、トライアルのチャンピオンとして有名なミック・アンドリュウスの手により、ヨーロッパ選手権シリーズ、イギリス選手権シリーズに挑戦しており、SSDTにおいては四日目までを首位、最終日に燃料タンクのトラブルがあつて惜しくも二位に終わっていますが、ヨーロッパ選手権シリーズでは首位に肉迫して二位を確保しています。

また、ヤマハとしては、トライアル競技はオートバイの運転に関して「基本操作をより確実にする」、「人と車の一体のバランス・テクニックを学べる」という点ですべてのオートバイ・スポーツの原点をなすものと考えており、ヤマハが積極的に活動している安全普及活動の基本方針にもマッチするものであることから、国内市販に際しては積極的にトライアル競技の普及活動を図るべく諸準備をすすめています。

## \*新しい需要層をひらく chappyのセールス・ポイント



- ボディ**▶ ●レジャーバイクとして初めて使ったパイプフレームボディ  
●新しいボディの線——スレイ（そり）ライン  
●あざやかな赤と白のカラーリング  
●低シート高と乗降の楽な前ぐり——シート高685mm

- エンジン**▶ ●ノークラッチ、ノーチェンジのヤマハオートマチック  
●シフト切り換えは特に手軽にできるものにしました  
●マフラーのイメージを変えた丸型消音器  
●街中での走りやすさに徹した低中速型エンジン

- 安全性**▶ ●明るさは抜群、大型車並のヘッドランプ  
●大型テールランプに魚眼レンズ採用

- 便利さ**▶ ●標準サブキャリア、オプションでフロントキャリアやフロントバスケットを用意  
●シートは前開き式で日常点検も簡単

- その他**▶ ●自転車並のブレーキ操作。右手は前ブレーキ、左手は後ブレーキ  
●小さなワイドなかわいらしいタイヤサイズ4.00-8-4PR  
●泥はねに万全な大型フェンダー

お店における『チャッピー』の評判はいかがですか——。  
鮮やかなチャッピー・レッドとやわらかな感じのホワイトに色分けされた『チャッピー』は、脱オートバイをねらった新しい商品として開発されたものです。

そつちよくにいつて、この『チャッピー』の有力ユーザーは、今まで「オートバイに乗らなかつた層」にあり、女性層や自動車指向の中高年齢層などに向けてもつとも効果の高い商品特性をもっているものです。

お店のみなさまにとつては、この点をよくご理解のうえ、新しい需要層の開拓にお働きくださるようお願い致します。

お店を美しく飾り、『チャッピー』を鮮烈に印象づけるPRツールも、左ページにご紹介しましたように各種のものが用意されています。またテレビや週刊誌、専門誌などのマスコミを媒体とした広告宣伝活動も積極的にすすめており、さらに新しい試みとして国鉄、私鉄、地下鉄の主要駅を対象に、駅掛けポスターも実施しております。

また、お店のみなさまと一体となつて実施される「ハローチャッピーキャンペーン」もスタートします。

この「ハローチャッピーキャンペーン」は「ダブル・テレフォン」と「チャッピースクール」からなりたつもので、いずれも潜在需要層の開拓に焦点を合わせたセールス・キャンペーンです。

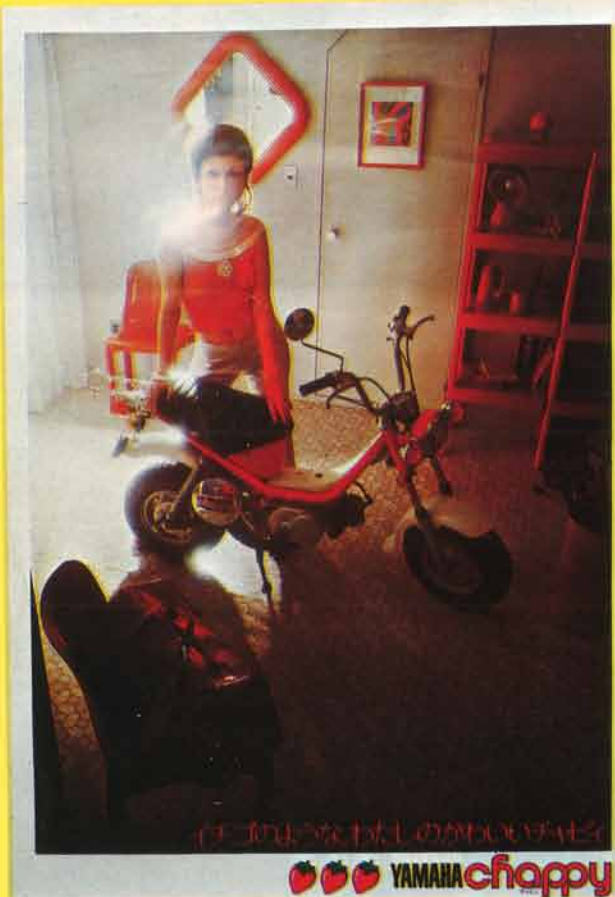
実旋の詳細については、担当のセールスマンがご説明いたしますが、是非とも積極的なご参加をお待ち申し上げます。



# 売れる商品chappyを

より売りやすくする豊富なPR物がそろいました!!

▶大きく目につく印象的なB全版ポスター・2種



YAMAHA chappy



YAMAHA chappy



▲アイ・キャッチの“イチゴ”がゆれるスイングステッカー



▲お客さまにどうぞ。ギブアウェイ・ステッカー



◀ジャンボステッカー  
搬送車にお貼りください



▲内容ゆたか、豊富なチラシとカタログ



店頭に掲げてさらに目につく垂れ幕



ニューカラーを追加

ヤマハ **ZIPPY** ジッピー

LB50-I・H/LB80-I・H

ヤマハトレール **RT360**

『ヤマハトレールRT360』および『ヤマハジッピーLB50-I・H/LB80-I・H』に、この5月15日よりニューカラーが追加されましたので、ここにご案内申し上げます。

いずれもカラーリングのみの変更で、設計仕様は変更ありません。

# YAMAHA TRAIL RT360

従来、ブラックマスクでうってきたトレール最大級のRT360が鮮やかに変身、バハブラウン（ブラック線引き）仕上げとなってデビューです。





# YAMAHA ZIPPY

## LB50-I·H/LB80-I·H

新しいスポーティファッションをリードして好評の“ジッピー50cc/80cc.”のハンドクラッチ車に、精やかなツヤ消しブラックと明るいブリリアンレッドを追加、さらにカラフルに、選びやすく売りやすさを増しました。対照的なニューカラーの追加が、また新しいお客さまの範囲をひろげます。(左が80cc車のLB80-I·H、右が50cc車のLB50-I·H)

LB80-I·H



LB50-I·H





好評発売中!!

最強のヤマハ市販レーサー群



## YAMAHA YZ250

セニア用の72ファクトリーマシンYZ637を生産ベースにのせたモトクロスサーがこのYZ250で、MX250をさらに上回るハイ・レベルのものとして3月より市販に入った。

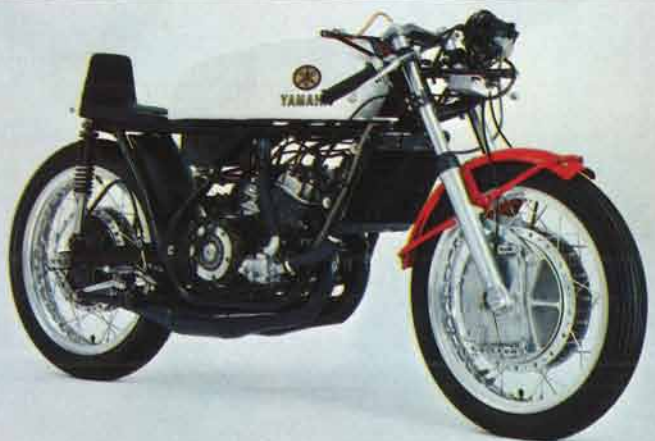
〔仕様〕エンジン：2st.単気筒246ccトルクインダクション 34PS/8000rpm CDI点火 変速機：常時噛合式5段 フレーム：高張力鋼管ダブルクレードル 重量：94kg



## YAMAHA TZ350

73年初頭のデイトナ200哩レースで1、2、3位を独占したニュースはまだ記憶に新しいが、その主役を演じたマシンがこのTZ350で、4月1日より国内市場にもデビューした。

〔仕様〕エンジン：水冷2st.2気筒347cc 54PS以上/9500rpm CDI点火 変速機：常時噛合式6段 前輪ブレーキ：ツインカム式ダブル 燃料容量：23ℓ 重量：115kg



## YAMAHA TZ250

まさに250cc級では無敵の存在を誇る世界最強の市販レーサー「TD。」に、高速スタミナを一段と強化した水冷エンジンを採用して登場したのが「TZ250」。6月より市販。

〔仕様〕エンジン：水冷2st.2気筒247cc 44PS以上/10000rpm CDI点火 変速機：常時噛合式6段 前輪ブレーキ：ツインカム式ダブル 燃料容量：23ℓ 重量：110kg



## YAMAHA TA 125

サーキットに新しいヒーローをつくるマシンとしてこの4月に発売に入ったのが「TA125」。軽量な車体構成とホットなパワーユニットの絶妙なバランスが注目のマトである。

〔仕様〕エンジン：2st.2気筒124cc 24PS以上/12750rpm CDI点火 変速機：常時噛合式5段 フレーム：鋼管ダイヤモンド 前輪ブレーキ：ツインカム式 重量81kg



# ヤーノ・サーリネン選手よ安らかに



すでに新聞、雑誌等の報道でご承知かと思われませんが、ヤマハ契約のフィンランドの名手、ヤーノ・サーリネン選手が、去る五月二十日、イタリア・モンツァにおいて行なわれた世界選手権ロードレース「イタリア・グランプリ」の250cc.級レースで、コース上のオイルから生じたといわれる未曾有のトラブルに巻きこまれて不帰の人となりました。

この突然の悲報は、世界のロードレース関係者、そしてファンの方にとつてまさに痛恨事以外のなものでもありません。

ここに同選手の死を悼み、哀心よりご冥福をお祈りする次第です。

また国内外のモーターサイクル・スポーツ関係者およびファンの方々から多数の弔電をいただきました。厚くお礼申し上げます。

Jarno Karl Keimo Saarinen (27才)





勝利のレイを肩に、喜びのヤーノ・サーリネン選手。本年度世界選手権ロードレースの第1戦「フランスGP」で、注目の500cc級レースに初勝利をおさめたときのス

ナップ。サーリネンはこの大会で250cc級レースの勝利も手中におさめ、好調そのもののスタートでタイトル・ラウンドにのぞんだものだった。

## ヤーノ・サーリネン選手回顧

### 「ブライング・フィン」 モンツァに死す

華麗ともいえる独特な走法でスピードファンの血を湧かし、ヤマハの世界選手権ロードレース制覇の原動力となっていたフィンランドの名ライダー、ヤーノ・サーリネンは、今年、デイトナ（アメリカ）、イモローラ（イタリア）の大レースに連勝、さらに世界選手権シリーズでは第一戦フランスGP、第二戦オーストリアGP、第三戦西ドイツGPと勝ちまくったあと、五月二十日、ライバルのG・アゴスチーニのホームグラウンド、モンツァ・サーキット（イタリア）に登場した。

名うてのハイ・スピードコース「モンツァ」未曾有の悲劇は、アゴスチーニとの対決が期待されていた500cc級レース直前の250cc級レースの、スタート直後に起った。

運命の第一周目、ストレートセクションにつづくカーブ個所にこぼれていたといわれるオイルは、先行していたイタリアのエース、R・パゾリーニ（ハーレー・ダビッドソン）のハンドリングを奪い、スリップを誘発、スリップストリーム内でつけていたサーリネン（ヤマハ）に対し、その直前で横向きになって立ちほだかった。

予期しないこの突然のアクシデントに、サーリネンは避ける手段もなく接触、時速一二〇マイルを越す高速からの衝突事故は一瞬にして二人の名ライダーの生命を奪ってしまった。パゾリーニはスリップしたままコース脇きのガードレールに激突、サーリネンは空中高くはねあげられてコース上に落下した。

赤と白に色分けされたサーリネンのフル・フェイス型ヘルメットは無残にもまっぶたつに割れ、事故のすさまじさを物語っているが、それは、ニックネーム「ブライング・フィン」の名にふさわしい壮烈な最期だった。

ヤマハレーシングチームのエースとして、アトラクテ





世界GPの第1戦「フランス・グランプリ」は4月22日、7万5000余の記録的な観客をあつめて行なわれた。サーリネン選手はこの大会で初めて500cc級レースにデビュー、常勝アゴスチーニを打破してみごと優勝、250cc級レースもチャンピオンの賞禄をみせて二つの勝利をかちとったのである。



世界GP第3戦「西ドイツ・グランプリ」は5月13日、ホッケンハイムリンクで開催された。このレースでサーリネン選手はチェーン切れで500cc級レースをおとしたものの、ニューラップレコードを樹立、250cc級レースは3連勝と勝ち星をかさね、2年連続チャンピオン獲得へ大きく足をのばしたのであった。



本年度国際モータースポーツは、3月11日の「デイトナ 200哩レース」でシーズン開幕の口火をきった。このレースにヤマハTZ350で出走したサーリネン選手は、並いる大排気量車の脱落を尻目に堂々の優勝を果たした。



4月15日の「イモラ 200哩レース」は、まさに「デイトナ」の再現でもあった。サーリネン選手は水を得た魚のように、まったく危なげのない走法で大排気量車をリード、勝利を手中におさめた。



世界GP第2戦「オーストリア・グランプリ」は5月5日、小雨けむるザルツブルクリンクで開催され、この大会でも①サーリネン選手は500cc級、250cc級の両レースを制覇した。

## “沈着で周到”

イブなワイフ、ソイリの運転するこじんまりとしたVWバンで、ヨーロッパ大陸を南へ北へと旅するチャンピオン、サーリネンは、各サーキットでファンにはほえましい話題を提供していたが、その姿はもう永遠に見られない。ヤマハレーシングチームは、この事故から一週間、すべてのスポーツへの参加をとりやめ、フィンランドの生んだ偉大なライダー、ヤーン・サーリネンの死に深く哀悼の意を表した。

レースでみせた彼のすさまじいばかりのファイトぶりとはうらはらに、素顔のサーリネンは「もの静かで、いかにも分別のありそうな好青年」という印象を与えた。

一九四五年十二月、フィンランドの港市タルクに生れ、地元で機械工学を専攻し、レースのかたわらトップで卒業したれっきとしたエンジニアであり、また語学の才に恵まれていた彼は、母国語の他に英、仏、独語をほとんど不自由することなくあやつることができた。

レースで名を成したライダーのご他間にもれず彼も少年の頃からレースの熱狂的なファンであった。

当時を回顧して、往年の名ライダー、ルイス・ヤングはこう語っている。

「パドックで選手やマシンにまつわりついて、時にはうるさく思うこともあったが、とに角あの当時から彼のレースへの熱は大したものだった。」

十代後半のサーリネンは北欧独特のアイスレースにざかんに出場していたが、65年にはフィンランドチャンピオンになるまでに腕を磨きあげていた。

「フライング・フィン」の異名にふさわしい繊細でいて大胆なレーシングテクニクはこの頃に鍛えあげられたものであり、アイスレースで得たレース感と、自信によって、ロードグリッピングのはるかによいロードレースコースで、他のライダーが思わず二の足をふむようなことも彼は易々とやってのけたのである。

ロードレースへのデビューは67年のことであり、使用したマシンはブッフ125であったといわれているが、69年には自分自身の設計になる急角度のハンドルパー装備の





▲ヤマハ選手との交歓

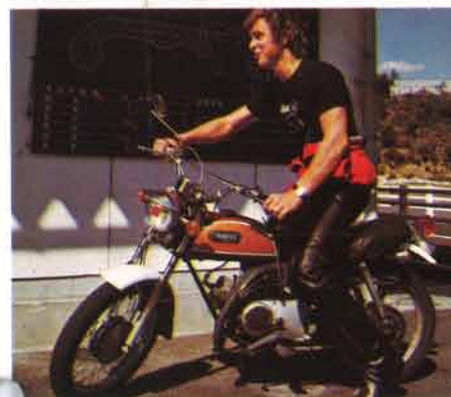
愛妻、ソイリ夫人と共に日本を訪れたのは昨秋のこと。ヤマハ本社を訪問したあと、袋井コースでニューマシンをテスト、日本GPでファンに来日のあいさつをしたり自動車ショーでサイン会に応じるなど、親しみやすい人柄で多くのサーリネン・ファンをつくり、約1か月の日本の休暇を有意義に過ごしたものだ。



▲鈴鹿サーキットでファンにあいさつ



▲専門誌紙との記者会見



▲袋井コースにて

▲自動車ショーでのサイン会

▲今年度の抱負を語る

これは外国人ライダーとしてはこれまでの最高の成績であり、お国びいきの英国人ファンによる投票結果としては非常に珍しいことであった。

世界選手権の檜舞台へ登場してから二年をこそここで、常勝アゴスチーニと併称され、国際的な人気ではむしろアゴスチーニをしのぐほどになった天才ライダー、サーリネンの事故死は、ヤマハにとって、また世界のモーターサイクル・スポーツ界にとっての一大痛恨事であった。その人柄、巧まぬショー・マンシップは、世界のモーターサイクル・スポーツファンから愛されたが、昨年英紙「モーターサイクルニュース」が主催した人気投票で二位に入賞した。

## “痛恨の事故死”

まさに、サーリネン最高の日になったのである。

ヤマハのフィンランド代理店アーウイドソンからのマシンと資金の提供である。

プロのレーシングライダーとしてこの年彼は、チェコGP 350cc級優勝を手始めに、イタリア、スペイン両GP 250cc級にも優勝、一躍国際スターライダーの一人になった。

ワークスヤマハのレーシングチームに加わった昨年度シリーズの活躍はまだ記憶に新しいが、250cc級でチームメートのR・ゴルド、アエルマッキのR・パゾリーニと白熱したタイトル争いを展開、ホームグラウンドイマトラで行われたフィンランドGPの勝利で初の世界選手権を獲得した。

ヤマハ250マシンでいくつかのGPに出場し、さらに翌70年には250cc選手権ランキング四位に躍進、国際的スターダムへの足掛りを固めた。

しかし、このあたりまでのサーリネンは学業半ばであり、レース参加のためのスポンサーもなく、資金的にかなりきゅうくつな思いをしたらしいが、この頃のエピソードとして四つの銀行から二〇〇ポンド(約十四万円)ずつ借用し、学費とレース参加費をまかなったことが伝えられている。

71年の春学業を了えた彼に強力な援助の手がさしのべられた。



メカ・セールス・開拓精神

# 三人の男たちの 商哲学

こんにちは

ヤマハ

です



もしも、目と鼻の先に、同業のヤマハフレンド店があったら、誰れだって商売がしにくいと思うでしょう。

ところが、四国は新居浜に、文字どおり通りをへだててモロに向いあっているフレンド店さんが実際にあるのです。

しかも、両店とも新居浜地区で売上げトップを競う活躍ぶりです。

また、競争きびしいこの業界に、まったく販売の経験をもたず、縁もユカリもない土地に店を開いて、商売がうまく成功するでしょうか。そんなにアマイものではない！なんて言葉が聞こえそうですが、岡山・津山市でみごとに成功している例があるのです。

今月の「こんにちはヤマハです」は、新居浜と津山からおおくりします。

激動の年といわれた73年も後半に入りました。みなさまのお店はいかがでしょうが。



新居浜市の市役所通り。左に新居浜オート商会さん、右に今井自転車商会さんが見える。

愛媛県新居浜市の市役所通り。市二〇メートルほどのその通りをへだててバッチリ向きあった二店のフレンド店さんは「今井自転車商会」さんと「新居浜オート商会」さん。写真でもお分りのように、文字どおり目と鼻の先で向いあっているのです。

しかも、いずれも優劣つけがたい販売力を誇っているのです。この両店の商法は？ その前に新居浜という地域の特性についてちょっとふれておきましょう。

## 自転車王国・新居浜市 林立するオートバイ販売店

新居浜は、大昔は美しい漁村でした。その後、別子銅山が発見されてからは、銅山を中心として、製錬所や銅を製品化する工場などが建ち並び、やがてそこに働く人達が集って大きな街となったのです。

これらの工場は大半が住友系で、近年、別子銅山が閉山になってからも、いせん住友五社の工場が立ち並び、工業都市として栄えています。

こうした働くひとたちの通勤手段は、おおかた自転車で、最近NHKのTV番組にも紹介されたほど、日本有数の自転車保有都市でもあります。

自転車が多いからバス利用者がいないのか、バスがないから自転車に乗るのか、これはニワトリとタマゴの関係に似ていますが、「市役所通り」と名のつくこの広い通りにも、一日2本のバス便が通るだけです。

もちろん自転車からオートバイへと乗り換える人も多く、そのためにオートバイ販売店は、これまたビックリするほど多いのです。

人口十三万のうち、オートバイ保有台数は現在二万。年間需要は三千台と目されていますが、市内には実に七〇軒のオートバイ販売店が軒を並べているのです。計算からすると、一キロいけば、かならずオートバイ店があり、一軒当りの一年間の割当ては四二台ぐらいいかなりません。

しかも、公害をさけるため、大きな工場から、例えば人事課がそっくり移動するというぐあいに、課ごと他県へ移動する現象がみられます。労働人口は減少する傾向にあるので

す。さらに、市内に五つある高等学校は、工業高校をのぞいて四校とも、オートバイを禁止しているというのです。

ざっと述べただけでも、オートバイ販売店にとつては厳しい場所がらであることがわかります。

## 利用者のニーズは メイト・クラスが圧倒的

通勤用の利用者が多いところから、新居浜で売れるのは大半がメイト・クラス。スポーツタイプを含めたレジャー用の車種は、これからの商品で、利用者のニーズ（欲しているもの）はもっぱら実用車に集まっています。

男女比をみますと、四対六の割合で、意外や女性の利用者が多く、オートバイ、自転車等の販売店は、交通網の未発達から大きな恩恵を受けているようです。

さて、林立する七〇軒のオートバイ販売店では、専売店をのぞいて各種メーカーのものを扱っているわけですが、そのシェアをみると、ヤマハが四〇%という高い販売率を占めており、市内だけを見ると、ヤマハの占きよ率は、およそ五五パーセントにもはる、といわれます。

販売店さんの努力とお客さまの人気の賜物ということでしようが、それ以上に、ヤマハフレンド店さんの結束の強さが、ものをいっているようです。

ここ新居浜地区では、市場の悪化をカバーするため、ヤマハ・フレンド店が独自にヤマハ会を結成し、いくつかの協力事項をかがけて、まずヤマハブランドの占きよ率を高めるために、たいへんな努力をされているのです。





無料点検は毎月第2日曜日——。新居浜オート商会さん

## 技術部門の充実を主体に 誠意とサービスで 固定客を確保

新居浜オート商会 ● 新居浜市宮西町四番八号

代表者 高橋 功一氏

市役所通りをはさんで西側にお店を開いているのが新居浜オート商会さんです。

おなじみYAMAHAの統一外装の下には、無料点検は毎月第2日曜日」と特筆大書された看板があり、店内はおよそ三分の二が作業場にあてられているというお店です。

表から見ても内から見ても、ここはいかに「技術に徹した専門店」という雰囲気がいちあふれています。

折から来店していたお客さんも、三三五五技術担当の店員さんと立ち話しながら作業を眺めているといったぐあい、それがまったく自然に見えるのです。

新居浜オート商会の代表者・高橋功一さんは、技術セールスを当商会の支柱としてお店の特色を打出しています。

高橋さんは、かつてオートバイの間屋さんを手がけた経験をもつ人で、メカニックについてとはくに詳しい方。この経営者を助けて永臣さん、延知さんお二人の弟さんが技術陣をガッチリかためています。

お二人とも真白なツナギが一日もてばいいくらいに仕事熱心で、たくさんのお客さまから厚い信頼をうけています。その技術の信用度が、人から人へとつたわって、お客さんはここへやってきます。他店で買ったお客さんも、そのお店の面倒見がわるいと、この新居浜オート商会さんへやってくるといいます。

十年来のお客さんも数かずあつて、そのうち十人ぐらいいは、年間十五台もの新車を購入してくれるありがたいお客さんです。こうし

たまとまった台数を買ってくれるお客さんは、中小企業の社長さんたちで、もちろん法人買。買い換えも、車種も、アフターサービスもすべて高橋さんのツルのひと声でケリがつくという絶大な信用は、本当に見上げたものです。ヘタにカッコをつけず、内容のともなった特長を真正面に押し出して、じつくりガッチリお客さんの信用を獲得した当商会さんの商法は、一本「スジ」が通っています。

### ★技術面に加えて オリジナルな積極商法

とはいうものの、この厳しい時代をどう乗り越えていくか——それは、これだけ信用度をベースとする新居浜オート商会さんにとっても、大きな課題であり悩みです。

技術とサービスにはこれこんでお客さんがやってくる、しかし、それでニコニコしていても、周囲の状況がきびしすぎます。

そこで高橋さんが目下考えていることは、若い人を抱えている商店に、オートバイを無料で、試乗用に提供してみようか、ということ。

近隣の商店主さんの話を聞いてみると、いまの「若いもの」は、仕事用にオートバイを使いたがらない。四輪車でないといやだという人が多い、というのです。

しかし、それは乗ってみたことがないからだ、と高橋さんは思っているわけです。しっ



お客様のニーズはメイトクラス。親身なサービスが固定客をどんどんふくらませる



新居浜オート商会さんの強力オールスタッフ。後列向って右よりご主人の功一氏、奥さま和子夫人、永田さん、永易慎一さん、延知さん、高橋建也さん



商売をはなれての趣味はマージャンとボーリングとか。ボーリングはアベレージ180点と玄人はだし



店内の3分の2がサービス・スペースにとられている。優秀な技術陣が当商会の信用のカナメ

かりした安全運転指導の上で、オートバイの楽しさと便利さを身をもって味わってもらい、そのためにはムダにする覚悟で試乗車を無料提供してみよう——そう高橋さんは考えているのです。

そういえば四、五年前、当店でも四輪をやってみようか、と考えたことがありました。

しかし、その後の状況をみてみると、公害問題や駐車場難で、四輪よりもやはりオートバイの方が有利とわかってきます。

いまでは、この無料試乗サービスを通して、四輪車を商用に使っている中小商店に、オートバイを売ってみたい、と、そう考えていら

っしゃるとのこと。非常に地道ながら、商売のスジを通し、加えて積極的にオリジナルなセールスを考案する新居浜オートさん。取材しながら、地に足のついたお店の姿勢に、たいへん力強いものを感じました。

## ★業界の正常化が

### まず先決問題

なお、この新居浜オート商会さんの商法に、もうひとつ感服したのは、お店の特色を技術とサービスにしばらくこんでいるという点に加えて、その商哲学にも、一本キマリとしたスジが通っている、ということでした。

すなわち、高橋さんの考えは、現在は自店の利益以上に、ヤマハの市場占きよ率を高める、ということに主眼を置いていて、ということでした。これまでは他メーカーの乱売などから影響を受けて、各販売店が自店の売上げばかりをあげようとするため、儲けの少ない苦しい商売に追いこまれていました。

これを正常に戻すには、ひとつ大所高所に立って、業界全体の体質強化をはからなければなりません。このままでいったら、業界全体が共倒れにならないとも限らないのです。

このため、新居浜オート商会さんも、ヤマハ会の設立に積極的に参加し、まず商売を正常に戻す種々の協定にすすんで協力しています。当面は、ヤマハをより多く走らせること、それが完成したら、今度は儲けることを考えます、高橋さんは、キッパリとそうおっしゃいました。





広い間口の今井自転車商会さんのお店と、天井に吊り上げられた自転車。らくらくメイトのネコがよく目立つ

“売る側より買う立場に徹して  
お客さまは自分の  
ものじゃない”を信念に

今井自転車商会 ● 新居浜市一宮二丁目

代表者

今井 于直氏

よりなお

## ★独特の店舗づくり

つづいて、こちらは今井自転車商会さん。新入学の需要最盛期とあって、新しい自転車、まばゆいほど並んでいます。

自転車のはなして恐縮ですが、この今井自転車商会さんの、自転車の年間売り上げは一〇〇〇台以上。一九〇種におよぶ自転車の種類を、それぞれスベアも含めて、常時五〇〇台を保有していなければならぬ、とのこと。天井にはレールが敷かれ、このレールからも自転車モノレールよろしくぶらさがっています。店の奥は一面鏡張りになっていて、奥行きがグンと広く見えるしかけ。そしてまた、店内の美観も一段と輝きます。

こうした店舗のつくり方は、扱い商品の豊富さと、その豊富さによってお店のブランドイメージを高めるといって、大きな成功を収めているようです。

さて、わがヤマハオートバイ群は、いまはお店の奥の鏡の前に、整然と並べられています。自転車の最盛期が過ぎると、このオートバイは、店舗の前面に美しく輝やかしく並べられるのです。

今井商会さんのヤマハオートバイの年間売り上げは、もちろん三桁。

向かい合った新居浜オート商会さんとは、一目瞭然、商法が違うようで、店舗レイアウトの違いにみられるように、こちらはこちらの商哲学に徹した姿勢が、ハッキリと感ぜられます。

## ★広い協業意識が信念

今井さんの商法は、まさに独特です。あらゆる業種を通じて、小売店の多くが、自店の得意客を組織化しようとしているのに反して、今井さんの信念は、お客さまは自分のものではない、という認識に立って商売をすすめているのです。

この考え方は、本来、お客さまには自由に好きなどころで好きなものを買う権利があるのだ、というシビアな、クールな考え方が根底となっています。

お客さまは一台のオートバイを好きなどころで購入し、困ったときにはどこでも相談にのってもらい、修理をしてもらう権利がある、と今井さんは考えています。

いうならば「お客さまは王様」という考え方に徹しているのです。

最近、自店のお客さんでない、他県からの乗り入れ客などが、旅上で故障したりした場合、修理サービスを親切にやってもらえない、などという声をきくことがあります。

大きな見地からすると、こうしたことは業界自身の首をしめていることになるのではないのでしょうか。

ヤマハフレンド店は、こうした点では固定客意識を乗り越えて、業界自身の発展をもつと真剣に考えなくてはならない、と今井さんは訴えます。

今井さんが「お客さまは自分のものではない」とおっしゃるのは、真にユーザーの立場、



大胆に鏡を使ったディスプレイ。お店の奥ゆきが深まり、ずらりならんだメイトもいっそうよく映える。



昭和33年開店いらい、苦勞をともにしてきた夫人は、ご主人の商法のよき理解者だ。

自転車ユーザーの管理カード。次はメイトにジツピイに……。



ユーザーのメリットを考えた販売姿勢からくるもので、その信念どおり、今井さんにとつては、一元さんも二元さんもお客さまはお客さま、たとえ他店のお客さまであろうと、サービスにへだてをつけません。

## ★ロ・ニ・ミ・ヨ・リ・も・P・R

こうした考えに立つ今井さんの販売方法は、自店の信用や固定客に頼るよりも、宣伝活動をフルにいかして拡販を計っています。

人件費が高くなっている所から、一人の営業マンを備うのと、同じ金額を宣伝にかけるのと、どちらがプラスか——この点を今井さんは考えます。一人の営業マンが歩く範囲、セールスで会う人の数には限りがあります。しかし、セールスマンによるマン・ツー・マンのセールスは確率が高いかもしれません。

いっぽう、新聞広告やチラシによる宣伝活動は、広い範囲にわたって、すみやかな伝達ができます。この両方をよく検討したうえで、今井さんは、「より広くより多く」宣伝をする方をとりました。

宣伝費は年間売り上げの3%を計上し、これを年間にふりわけて、需要期にはかなりの金額を投入します。

宣伝費というものは、その効果がどのようになり上げに反映するか、ハッキリしたデータが、なかなかつかめないものです。

しかし今井さんは、宣伝費にかけた金額は、必ず売り上げにはね返っている、と確信をこめておっしゃいました。

## ★サービスのいらぬ商売が理想

さて、よい商品は信用ある店で売られなければならない、とおっしゃる今井さんにとつて、アフター・サービスはいうまでもなく信用を高める大きな土台です。

しかし、と今井さんはおっしゃいます。「アフター・サービスには当然限界がある」と。つまり、お客さんの乗り方に問題があつた場合、その面倒までみるのがアフター・サービスだろうか、と今井さんはいうのです。

本来、アフター・サービスとは、同じ商品の中に、何らかの欠陥などのバラツキがあつた場合、そのバラツキを調整して、完璧な商品として提供することがアフター・サービスではないだろうか、と今井さんはいうのです。ですから「わるい商品は売らない」この姿勢を徹底して、アフター・サービスのいらぬ販売をすることが、今井さんの理想です。そのためには、事前に、お客さま個々に、乗り方の指導等を行い、商品と商品説明がたりなかつたと思われるときのみ、アフター・サービスをし、その他はハッキリと修理費をいただく、というのが、今井さんの考え方なのです。

趣味は商売、商売のハナシなら三日でも四日でも寝ずに語るといふ今井さん、短かい時間の中で、ユニークな商哲学のいろいろを聞かせていただきました。

つづいて編集部は、瀬戸内海を渡り岡山へと足をすすめました。



# 新規開店 三年目で100台を突破

オートショップ津山 ● 岡山県津山市山北四四四の六

代表者 小野 弘久氏



▲オートショップ津山のオールメンバー。右から代表者小野弘久氏、2男誠二君、技術スタッフの芥田誠治君、「メイト」経営の奥さま小野ヤスエさん。長男の裕一君（11才）は学校に行っていて不在でした。

▲ヤマハ専売店としてお店の性格を明確化、高い家賃を払ってもなお商売のウマ味が……。

開店ираいの歴史と地盤に支えられたお店にとっても、昨年来の市場の激化は身にこたえます。

まして、急激な地価の上昇、その他の資材の値上がりで激しい今日では、新規にお店を開くのは、大変な勇気がいるでしょう。

投下資本は何年で回収できるのか、どうやって市場に喰いこみ需要を開拓していくか？ こうしたことは、長年ご商売の経験がある方にとっても興味深いことに違いありません。

さて、ここにご紹介するのは、岡山県は津山市で、3年前に開店された「オートショップ津山」さんです。

全く初めての土地柄で開店いらい3年目で100台を突破する売り上げ実績を持つこのお店の商法は、やはり関心のマトとなるものです。

## ★販売店が林立する津山市

岡山と鳥取を結んでちょうど真中あたり。山に囲まれた城下町「津山市」は、観光資源に恵まれた公害知らずの美しい街です。

人口約七万六千。「学生の街」といわれるほど学校が散在するこの市内の交通機関は、主として自転車。したがって自転車やさんは市内に85軒ほどもひしめき合い、うち67軒がオートバイを併売しています。

新居浜以上に、競争の激しい地区だといえます。この津山市に、小野さんが店開きをしたのは3年前の昭和45年8月。

中国縦貫道が近くを通るようになるため、地価は急上昇して、十七坪ほどの店舗の値段が、当時で何と一〇〇万円とか！「もちろん

こんな大金はありませんので、ひとまず権利金を払って店舗を借りるようになりました。家賃は月々77,000円です」

こうして小野さんがヤマハ・オートバイ店を開くには、かなりの覚悟がいったに違いありません。

## ★座売り商法の中になぐりこみ

小野さんの前身はサラリーマンです。倉敷レーヨンに13年も精勤しましたが、どうしても商売がしてみたくて、思い切ってトラックを購入して、一時、運送業に転身しました。

このとき、もっぱら得意先だったのがヤマハ岡山で、納車その他でオートバイに親しむようになりました。こうして、ヤマハ岡山担当地区を廻っているうちに、自分でもオートバイ店がやれそうだと、思うようになりました。「自分がみた限りでは、これだけ販売店がたくさんあるのに。意外にも外回りしているお店が少ない、アフターサービスも徹底してない、これで商売が成り立つなら、自分ならもつとやれるだろう、そう思ったから」といいます。

特に津山市を、と狙ったわけでもありませんが、津山営業所からの紹介もあり、販売店のひしめく地区ではあったけれど、これも何かの「縁」と、思い切ってここで開業することに決めました。

ローカル商売の、のんびりした座売り商売の中に、積極的な開拓者精神でなぐりこみかけた、ということになるでしょうか。

開店らしいPRには手を抜かない文章もレイアウトも全て自分の手で



## ★頭とからだでチャレンジ

開店当時、この市内に知人は一人もなし。

津山営業所の親切な助言だけが頼りです。

僅かな自己資金と、銀行からの借入金で、権利金を払い、チラシを配り、その他の必要経費・残金は僅か。あとは頭と体で、できる限りチャレンジしてみるしかありません。

座売りのなのんびりした商法になぐり込みをかける意気で作ってきたからには、こちらは外商（セールス）の可能性を追求してみる事が、当面の課題です。

また、他の販売店のアフターサービスが徹底していないという点も、小野さんに開店の



▲さすが学生の街とあって、詰衿の高校生が三五五店の前を行く。

▲若者たちを強力に組織化するための、いわば附帯事業ともいうべき「メイト」を開業。独立採算で奥さまが経営者です。

勇気を与えたもののひとつです。

そこで小野さんは、開店時のPR効果と、アフターサービス、すなわち技術面の充実について、できるだけのことをしよう、と考えました。

まず技術面では信頼のおける青年を社員に迎えました。またPRの面では、地方新聞に広告をのせるほか、チラシを配布しました。

これをフォローして、単身街中に出て、オートバイの置いてある家々をとり込みで訪問しました。とくに、古いオートバイの置いてある家々を戸別訪問し、カタログ代りに名刺を置いて、あいさつに廻りました。

また、路上で故障車にぶつかったときには、故障の原因を一緒に考えるなど、スキンシップにも訴えました。

## ★オープニング作戦は景品つき販売で

開店に際しては、開店から1カ月間にお買いあげのお客さまに、一年間のオイル無料サービスを大々的にPRしました。

この無料サービスは大きなPR効果をはくしましたが、実は、これは言葉の魔術であって、一台当りのオイル年間消費料は僅か2〜3ℓ程度にすぎません。たとえゴマンとクルマが売れても、投資額はタカが知れているのです。このほか、ヤマハ本社から、財布、キーホルダーなどの販促用品を入れて、開店時にきくれた人全員にプレゼントしました。

このオープニング作戦はかなりの効果をあげたようで、これにスキップに訴えたセールスの強みが加わって、開店10日間に8台が、まったく見ず知らずのお客さんの手に渡

ったのです。それからはずまずの成績。メイトクラスの市場だった津山市内で、高校生の人気を獲得して、現在、市内唯一のスポーツ・タイプが扱えるお店として成長しました。

## ★「メイト」開店で相乗効果

小野さんのお店には、ひねもす高校生たちがやってきました。娯楽の少ない当地では、オートバイは若者たちにとつて、いわば唯一の楽しみ。交通機関にとぼしいため、当地の高等学校は、排気量制限つき（50〜125cc）でオートバイ通学を許可していますが、最近通学用とは別個に、スポーツ・レジャー用の重量車を求める若者たちが急増しました。

クルマの話をするために、一緒にクルマを修理するために、若者たちはお店に集ってきます。店内には雑談を交わすコーナーがあつて、入れかわり立ちかわり、若者たちが、わが家に集うようにやってきます。このスキップが、いまやお店の繁栄を支えるカナメとなつていきます。この若者たちの談話用に、ちよつとした休けい用に、奥さまは倉庫を開放して、「お好み焼やさん」を開店。その名も「メイト」と命名しました。

「オートショップ津山」と「メイト」は相乗効果で両店とも大繁盛、若者たちにとつては、オートバイを中心とした仲間が増えて、これまたメダタシ、メダタシというわけです。小野さんはさらに、ツーリング・クラブの結成などを通じて、若者たちとの交流を深め、健全なオートバイ・スポーツを知ってもらうことに、大きな生甲斐を見出しています。



快調!

## 鈴木秀明選手タイトルへバク進!

73全日本選手権モトクロス



全十一戦にわたって争われている73MFJ全日本選手権モトクロスシリーズは、去る五月二十六、二十七日の長野モトクロスで、第五戦を終了した。

長野県晴ヶ峰高原特設コースでの第五戦注目のセニアクラスでは、前回の鈴鹿モトクロスで今期セニア2クラス制覇第一号を決めた鈴木秀明選手（遠州ライダーズ・ヤマハ）がYZM250を駆って相変らず向うところ敵なしのつよさを発揮セニア250ccクラスに四戦中三優勝目をあげた。

二ヒートで争われた、このセニア250cc第一ヒート二位にとどまった秀明選手は、第二ヒート、スタートよくとび出した増田耕二松本満夫両選手を第一コーナーで抜き去ると以後はぶっち切り、三〇分十二周をまったくの独走に終始して完勝した。

第五戦終了現在、ランキング争いでもセニア250ccでは、55点を上げて秀明選手が大きくトップをつつ走っている。二位は33点の岩尾一敏選手（エクスプレスMCC・ヤマハ）。

またセニア125ccでは、健闘よくセニア一年生の杉尾良文選手（神戸木の実・ヤマハ）が32点でトップ、秀明選手は27点の二位でヤマハ同士の激しいトップ争いを演じているところだ。

## アムステルダム・モーターショー

ヨーロッパはヤマハのオートバイにとって最も重要なマーケットの一つです。またモータースポーツが盛んなヨーロッパでは各地で様々な形態でモーターショーが行われます。

ここにご紹介するアムステルダム・モーターショーはその中でも各国のオートバイファンから注目されるショーの一つです。したがってこのショーに出品する各社はその展示になみなみならぬ力をいれます。このヤマハのコーナーを担当したのはヨーロッパのヤマハモーターNVです。

見やすく、美しく展示された高性能のヤマハのニュー・モデルは会場を訪れた人々から大好評を博していました。



こんな使い方  
もあります。

— AG バイク —

ゴルフ・バッグを肩にした美女が跨っているオートバイはAGバイクといって、オーストラリアとニュージーランドの牧場で馬にかわって羊の管理を引き受けているヤマハのスペシャリティール・バイクです。定評あるトルクインダクション搭載のヤマハ・トレールをベースに作られたこのAGバイクはチェーンガード、ヘッドランプやレバーを保護するガー

ドなどを装備し見るからに頑丈そうに出来ており、オーストラリア、ニュージーランド両国ではその使いやすさとタフネスぶりがうけて現在爆発的な売れ行きを見せています。写真で紹介しているのはそのスタイリングの良さと機動力が買われてゴルフ場でも管理や連絡用に重宝がられているという一コマです。







# 山岳救助 の 新兵器

登山のさかんな日本で一番問題になるのは遭難者の救助、特に冬山における救助活動の困難さですが、このことは雪にとぎされる期間が日本よりはるかに長いノールウエーではより深刻な社会問題となっています。

ノールウエーのヤマハ代理店のヘグナー社の社長であるヘグナー氏は、この困難な山岳救助活動にヤマハのスノーモビルを使う計画をしています。それは山のふもとに待期し

ているスノーモビルをヘリコプターに積んで一気に遭難現場の近くまで運び、スピーディーで安全な救助活動にあたらせようとするものです。写真で紹介しているのはそのテストをしている所です。テストの結果は上々とのことで、ヤマハ・スノーモビルが人命救助のためノールウエーの山岳地帯を走り回るのも間近いことでしょう。

新発売!

# 業務にレジヤーに幅広く活躍する

## ヤマハポータブルゼネレーター ET-1250

土木建設をはじめとする農林業、自動車修理、非常電源用などの業務用途に、またオートキャンプや船用レジヤーなどのレジヤー用途にと電動機材やレジヤー用電気製品の普及につれて、電源の求められない場所での使用のために小型発電機・ポータブルゼネレーターの需要が最近急速に高まっています。

そこで、市場の要請に応じて登場したのがこの「ヤマハポータブルゼネレーター・ET-1250」です。

特にこのET-1250は、すでに多用途の汎用エンジンとして実績も豊かな「ヤマハMT110」を採用し、軽く発電力も大きく、経済性も高いうえに騒音も少ない——というポータブルゼネレーターに求められる諸条件を、十二分に満足させる高精度なものとなっています。

### ◆高性能で一段と用途を拡大

特にこれから大きな増加が見込まれるレジヤー用途にも十二分に利用できる高精度ET-1250の特長は——

①負荷電流の増加に対する電圧変動率が、全自動トランジスタ電圧調整器(SCR方式)

の採用できわめて少ない。

②大型吸気サイレンサーを装備し、振動も少なく吸排気音も静かで、軽作業場では近づかなくてはその作動がわからぬほど。

③軽量コンパクトで持ち運びが簡単。同装備、同クラスのものに比べ約10キロ以上も軽い。

④2サイクルエンジンのため、粘りづよく4サイクルのようにクランクケースにオイルがないので傾斜地での使用にも焼付きの心配がない。

⑤調整が簡単しかも耐久力も抜群で特に高出力を必要とするものに最適。

どうぞ、新商品「ヤマハポータブルゼネレーターET-1250」お店でもよろしくお願いたします。

### ヤマハポータブルゼネレーター ET-1250の利用範囲例

使用器具	使用できる範囲	
	50Hz	60Hz
1 (交流) 照明・電熱・ラジオ・テレビ・ステレオなど合計	100V 1050W まで	100V 1250W まで
2 (交流) 電動工具類 汎用モーター類	350W 200W	400W 250W
3 (直流) 自動車・ボートなどの バッテリー充電 12V用サーチライト・ モーター	12V 8A(100W)	

### ■ヤマハポータブルゼネレーターET-1250仕様諸元 ▼第96-97号

〈エンジン〉	定格回転速度—3,000rpm   3,600rpm
名称—ヤマハMT-110	(直流)
エンジン型式—2サイクル空冷ガソリン	電圧出力—12V・8A(100W)
総排気量—106cc	励磁方式—自己励磁方式
最大出力—4.3PS/5,000rpm	力率—100%
使用燃料—混合ガソリン(25:1)	相数—単相
燃料タンク容量—3.25ℓ	極数—2極
燃費—満タンで約3時間	駆動方式—直結
潤滑油容量—0.15ℓ	〈装 備〉
始動方式—手動(リコイル式スタータ)	交流コンセント数—2コ
〈発電機〉	直流12V端子数—1コ
名称—EL1050 D-01   EL1250 D-01	電圧調整器—全自動トランジスタ(SCR)方式内装
周波数—50Hz   60Hz	過電流保護装置—ノーヒューズブレーカ(AC S.W.)
(交流)	ヒューズ(DC)
定格出力—1.05KVA   1.25KVA	標準工具—一式
定格電圧—100V	〈寸法・重量〉 全長—544mm 全高—447mm
定格電流—10.5A   12.5A	全巾—401mm 重量—41kg



# START

▶ 競技会

▶ 会場

▶ 主催

▶ 連絡先

1	TCMS北海道第3戦	未定	北海道ヤマハ(釧路)	0154(23)3345
	TCMS関東D第3戦	長野市落合橋下	ヤマハ長野	0262(41)1131

## ハローチャピイ キャンペーン スタート!!

8	TCMS北海道第4戦	中山サーキット	北海道ヤマハ(帯広)	01552(4)4495
	TCMS関東A第3戦	市原サーキット	TCMS関東事務局	03(572)2021
	TCMS関東C第3戦	利根川五料橋下	ヤマハ群馬	0272(51)2221
	TCMS関東B第3戦	下田トレールランド	高橋商店(長岡)	0258(33)3131
	TCMS中国第4戦	広島	ヤマハ発動機広島営業所	0822(82)4111
	TCMS四国第5戦	高松トレールランド	ヤマハ発動機四国支店	0878(31)1661

15	TCMS東北第6戦青森県大会	未定	ヤマハ発動機仙台支店	0222(94)6121
	TCMS中部YGSF選抜大会	富士スピードウェイ	ヤマハ発動機名古屋支店	052(913)2121

8月

\*スケジュールは天候その他の事由により変更されることもあります。事前に連絡先にお問合わせください。

4	主	第2回ヤマハ・グランド・スポーツ・フェスティバル 富士スピードウェイ ヤマハ発動機株式会社
5	日	

●ヤマハ発動機株式会社

〒410 静岡県静岡市清水区山崎1-1-1 ☎0543(22)1111

●北海道ヤマハ

〒067 札幌市西区南一条7丁目2番2 ☎011(84)1271

●仙台支店

〒982 仙台市青葉区南3丁目1番1 ☎022(94)6121

●東京支店

〒104 東京都中央区銀座7丁目13番2 ☎03(572)2021

●名古屋支店

〒462 名古屋市中区栄2丁目24 ☎052(91)2121

●大阪支店

〒550 大阪市西区北堀江1丁目27 ☎06(75)7231

●四国支店

〒760 高松市松島町1丁目22 ☎087(31)1661

●九州支店

〒837 福岡市博多区博多駅前2丁目3 ☎092(31)9606

●広島店

〒731 広島市東区南1丁目16 ☎082(23)9711

# ヤマハ YAMAHA

## ヤマハポータブルゼネレーターET1250

### ゆたかな商品群

陸に、水に、雪に、楽しいスポーツレジャーを生み精力的に働くヤマハ、YAMAHA——みなさまがおなじみの、あるいは初めてのヤマハをここにご紹介します。お客さまとの話しネタとしてどうぞご利用ください。





ことしの夏も  
富士に集まれ!!

# ヤマハグランド スポーツフェスティバル

〈第2回〉YGSFはあと1ヵ月 8月4日(土)、5日(日)開催です

会場の富士スピードウェイ (FISCO) には、マシンのサウンズが、ミュージックのサウンズが若者の歓声と交錯、“ヤマハグランドスポーツフェスティバル”の熱い興奮がうずまきます。

くるそと勇しく誓って故郷を出た  
こゝや負けて帰れぬ 関西ブロック  
中国



ヤマハニュース7月号・昭和48年7月1日発行・  
発行所・ヤマハ発動機株式会社  
〒438 静岡県磐田市新貝2500・発行人：小池久雄